



つくば学園ロータリークラブ

2019-20 皆葉年度 ロータリーを考える

会報 号外

It is the 34th year since 1986

例会報告
INDEX

2020 年 4 月 15 日

つくば市へアルコール消毒液 1000 本・不織布マスク 3 万 2 0 0 0 枚 寄贈

寄贈



新型コロナウイルスの急激な感染拡大に対応するため政府からの自粛要請が出されました。つくば市内の小学校・中学校・一貫校・特別支援校も休校を余儀なくされています。つくば学園ロータリークラブは、子供達が安心して学校生活を送ることを目的とし、感染拡大防止の対策として消毒液やマスク等の寄贈の企画を立てました。そして 4 月 15 日、市内の小学校・中学校・一貫校・特別支援校・茗溪中学校の計 48 校が安心して再会ができるようアルコール消毒液 50 ケース（20 本入り）計 1,000 本、医療機関等へ不織布マスク 3 万 2,000 枚をつくば市へ寄贈しました。



目録

つくば市長 五十嵐 立青殿

一、アルコール消毒液 1,000 本

一、不織布マスク 3 万 2,000 枚

新型コロナウイルス感染対策として、つくば市へ寄贈致します。

令和 2 年 4 月 15 日

つくば学園ロータリークラブ

会長 皆葉 真治



五十嵐市長

この時期、3万2,000枚もの不織布マスク、なかなか手に入りません。さすがつくば学園ロータリークラブです。本当に心より感謝致します。大切に使用させていただきます。

皆葉会長

ロータリークラブは、いろいろな職業の方が会員として集まっています。このような活動の提案を受け、会員の職業の強みを活かし、今回不織布マスクとアルコール消毒液が調達を出来ました。ロータリークラブの特徴、特色として自分の職業を全うすることがロータリークラブの活動、そして人々のためになるという考えを活かす事ができ、このような贈呈が実現しました。



インタビュー



今回のこのような企画はロータリークラブの例会の中から出たのですか。

今は例会は休会としています。意見交換についてはLINEやメールで行っています。今後の企画については、これから意見を出し合っていきたいと思います。実際には集まっては何かをしようと言う事業が得意なのですが、今はそれがなかなかできない。これからもロータリークラブの強みを活かせるような事を探し、何か行動にしていきたい思います。

アルコール消毒液と不織布マスクは手に入りやすい環境なのですか

会員に医療関係に近い仕事をしている方と、酒造関係の会員の最大のご協力のもと、不織布マスクとアルコール消毒液は今回認められた飲料用のアルコールを提供させていただきました。

今後の計画などがありますか。

今何が必要なのかをいろんな視点で情報集めて何か糸口をつかんでいきたいと思います。

アルコール消毒液は小学校・中学校・一貫校・特別支援校・茗溪中学校48校に使ってもらいたいと言うことで50ケース用意しました。学校に十分のアルコール消毒液がある場合は、市の判断でその他の施設にも回していただく事もいいのですが、企画の始まりは学校が再開するときにアルコール消毒をできるように50ケース、全部の小学校・中学校・一貫校・特別支援校・茗溪中学校に行き渡るようにという話になりました。数の調査から始めて優先順位をつけていただいで対応していただき、5月の学校再会までに、どこに何本と言う形で小学校、中学校、特別支援学校に配布していただこうと思っています。

